

主の御名を賛美し

ます。あっという間にGWも終わり、最近やっと過ごしやすい季節になってきました。



名古屋では日が落ちてもTシャツ1枚で過ごせるほど暖かい日が続いています^^

先日のGWはお正月ぶりに実家に帰省してきました。祖父母・両親に元気な顔を見せたいというのはもちろんですが、今回は前号にも掲載した我が家の愛犬・ふえありいが元気なうちに会いたい…。という思いで帰りました。一時は余命1,2ヶ月と宣告されていたふえありいですが、多くの方に祈っていただいて今も元気に生きています。人に抱かれるのが大好きな子で、今回もたくさん「抱っこ」をせがまれました。(笑)



また、いつもお世話になっている従姉妹一家も同じ時期に北海道に来てきて、楽しい交わりのひとときももつことができました^^



◀従姉妹と一緒に、久しぶりに乗馬体験もしてきました。(多分15年以上ぶりくらい…。笑)ここで係のお姉さんに本気で中学生に間違えられて、危うく乗馬できないところでした…。(笑)



◀両親受洗の地・支笏湖にも行ってきました。支笏湖は透明度が高く、ミネラルウォーターにもなるほど。帰省すると自然を感じられる静かな場所に行きたくなります。

4泊5日のわずかな時間でしたが、ふえありいの元気な姿も見ることができ、自然を肌で感じてリフレッシュすることができました。帰る家があることに感謝しながら、今年の夏も頑張っ乗り越えていきたいと思います。(笑)

-4月の主なはたらき-

- 4/2 チラシ配布
 - 4/7 ナイトdeライトコンサート
 - 4/16 Eデザインコンテスト(メッセージ)
 - 4/30 チラシ配布
- ※一部抜粋

4月2日と30日の日曜日には、小学生のおともだちやユースのみんなと一緒に、チラシ配布に出かけました。

既にご存知の方も多いと思いますが、私たちの教会では月に一度、地域のおともだちや学校の友達を誘いやすいように「イベント」の日を設けています。毎月チラシを作って時間があるときに配布しているのですが、4月2日は小学生のおともだちと公園に遊びに行くついでに、チラシを持って行ってそこで出会う方々にチラシを配ることにしました。



…とはいえども行く先で初めて出会う人たちにチラシを配るなんてほんのおともだちにとっては、初めての経験。どうやって声をかけようか？快く受け取ってもらえるか？みんなで相談しながらチラシを配りました。

実は私、こうやって初めて出会う人に声をかけたりするのがとても苦手です。(笑)それでもおともだちに手を引かれながら(?)私も何枚かチラシを配ることができました。

ある子は、「私、あの人にも配ってくる!」と積極的に声をかけてチラシを配っていて、神様は本当に一人一人に素晴らしい賜物を与えてくださっているんだなあと感動しました。



30日には、ユースのみんなとチラシ配布に出かけました。

日差しが強い日でしたが、文句ひとつ言わず一枚一枚丁寧に配布してくれました。

いつもは私が一人で黙々とチラシ配布に出かけていましたが、4月はみんなでチラシを配る機会が2回も与えられて感謝でした。一人でするチラシ配りよりも、みんなでするチラシ配りの方が楽しく、何よりも「あと何枚?」「こっち終わったから手伝うよ」と互いに助け合い、励まし合うことができます。

チラシ配りはとても地味な作業ですが、福音の種を蒔く重要な働きです。いつか実がなったときの感動を、おともだちと喜べる日がくることを祈りつつ…。

4月7日には、ナイトdeライトのコンサートにTくんと出かけてきました!



◀ナイトdeライトは、北海道発のクリスチャンロックバンド。メンバーは全員クリスチャン。drmの方は、現役のユースパスターです。北海道では知名度が高く、CMでもよく顔を見かけます。(笑)ユース礼拝でもゲームBGMとして活躍中!

ナイトdeライトは、4人それぞれが作詞作曲してオリジナル曲を作り、その楽曲を通して希望を伝えることを目的に活動しています。直接福音を伝える楽曲もあれば、本当の希望はどこにあるのか? 私たちは何のために生きているのか? と疑問を投げかけるような楽曲もあります。



私はTCU時代に学園祭でナイトdeライトをお招きしてから大ファンで、曲の歌詞もメッセージを準備するときの参考にさせていただいています。

今回のコンサートでは主に3月15日にリリースされた「SHIFT」というアルバムを中心に歌ってくれましたが、その中でも「ポラリス」という曲が私の心に留まりました。ポラリスとは、北極星のこと。北極星は、地球から見てほとんど動かない特性のある不動の星として有名ですが、そんな北極星のようにどんな時でも神様は変わらない方であること、どんな暗い場所にいても照らし続けてくれる方であることが歌われています。

既に知識としては知っていたことですが、音楽にのせて聞くとまた新鮮で、歌詞が心にグッと刺さりました。

ナイトdeライトの曲を聴いていると、福音の伝え方や切り口は本当に様々だなあと感じます。私も手段や方法の引き出しを日々研究しつつ、福音を伝える者になりたいです。

そして、16日には4月のイベント「Eデザインコンテスト」を行いました。



◀今回もTスパイダーマンが大活躍!! スパイダーマン十字式は順調に定着しつつあります^^



◀イースターだったので卵リレーをしました。お皿の上に乗っているのは本物の生卵! みんな慎重に運んでくれて大惨事にならずに済みました笑

私は今回メッセージの奉仕をさせていただきました。2年連続でイースターのメッセージを任されたので、どんな話をしようか悩んだ末にMEBIGの紙芝居からメッセージを準備することにしました。



◀いたずらばかりして村人を困らせていたカラス。遂に村人はカラスを殺そうと決意。可哀想に思ったごんべいさんはカラスと話すためにカラスになります…。

紙芝居の中で、カラスと話をして助けたいと思ったごんべいさんはごんべいガラスになります。村人はカラスになったごんべいさんをいたずらカラスだと間違えて殺し、木に吊るしてしまうのです。それと同じように、イエス様も悪いことばかりする私たちの身代わりになって死んでくださったことを伝えました。私自身、メッセージの準備を通して十字架と復活の意味を改めて教えられる時となりました。

その後はみんなでイエス様のよみがえりの象徴である、イースターエッグを作りました☆



◀スパイダーマンもやってくれたTくん^^今回は投票制度を導入して、優秀な作品には景品をプレゼントしました。みんな気合を入れて真剣に作成していました。(笑)



◀こちらが作品の一部。感謝なことに親子で来てくれる方も多く、普段教会の子育てサークルに集っているママが優秀作品に選ばれていたりしました^^

今回は大人15名、子ども29名の参加でした^^

-5月の主なはたらき-

5/1-5/5 帰省

5/7 ぶっとびwith J ☆

5/14 ユース礼拝 (メッセージ)

5/21 人形劇の練習開始 (オープンチャーチに向けて)

※一部抜粋

☆印のみ報告します。

5月7日は、横浜にあるみどり野キリスト教会の方々が13名来てくださり、とても賑やかな1日になりました。



◀朝の礼拝の中での一コマ。「島から落ちるな」というゲームをやっています。2人1組で新聞紙の上に立って代表者とじゃんけん。負けると新聞紙を畳んでいきます…。



◀畳んでいくと2人では立てられなくなるので、おんぶしたり肩車したりして限界まで立ち続ける努力。さすが若いお兄さんお姉さん、力持ち。



◀メッセージはみどり野教会の牧師である西村希望先生が、99匹の羊の箇所から自身の経験を通してしてくれました。



◀お昼ご飯は持ち寄りの日。会堂でお兄さんお姉さんと一緒に食べました。人気メニューはチキンナゲット。一瞬にしてなくなりました…。笑

午前中の礼拝はJキッズ (CSの働き) 主催で賛美やゲームのときをもちましたが、午後からは

みどり野のお兄さん・お姉さんが集会を導いてくれました。



◀通称「のびのびーず」の2人組。左手を挙げるか、右手を挙げるか、両手を挙げるかでポーズじゃんけんをしてくださいました。同じポーズになったら負けです。



◀こちらは鬼ごっこの図。箱から出るカラーボールと同じ色の鬼が追いかけてきます。枠の中から出ないようにみんな必死に逃げてました!



◀みどり野のお姉さんが紙芝居をしてくださいました。身近にいるお友達を自分のように大切にすることを教えられました。



◀集会後はみんなでパフェパーティー! お兄さんお姉さんとオリジナルパフェを作りながら楽しい時間を過ごしました^^私はタピオカミルクティーをひたすら飲んでました笑



◀さあ恐怖のウォーターバトルの始まりです…。私はこの写真撮った後すぐに中に逃げました。(笑)でも小学生たちはみんな楽しそう^^

みどり野キリスト教会は小学生やユースミニストリー (中高生の伝道) に力を入れている教会で、私たちたちの教会でも夏に開催されるぶっとびキャンプ (みどり野教会主催) には毎年参加しており、かねてから交流がありました。

小学生や幼稚科さんのおともだちはたくさんのお兄さんお姉さんが来てくれて大喜び。普段人手が足りなくて断念するようなゲームもたっぷりすることができました^^

午後からの集会は完全にみどり野教会の皆さんにお任せして行いましたが、ゲームの導き方やパントマイムなどパフォーマンス、賛美のリードの仕方など…私もたくさん勉強させていただきました。何よりも、久しぶりにおともだちの目線に立ってゲームや賛美をしたできてとても楽しかったです。この視点を忘れちゃいけないな…と思いました。

出会いに感謝しつつ、私もここで精一杯の奉仕をささげていきたいと思われました。

written by manyamo